

平成21年度武蔵野市財政援助出資団体経営目標評価シート

団体名		財団法人 武蔵野健康開発事業団						
①	指標名	職域健康診断の実施件数			目標値	2,100件	実績値	2,040件
	過去の実績	平成18年度	平成19年度	平成20年度	達成率	97.1%	達成状況	未実施・ <del>未達成</del> ・達成
	(単位: 件)	1,919	1,996	2,000				
	取組内容	<p>※21年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。</p> <p>①ホームページや市民講演会等での継続的な周知に加え、新たに、労働安全衛生法及び規則に基づく事業所の実施義務について、健康づくり関連情報誌等において周知及び受診勧奨の記事を掲載した。</p> <p>②前年度に事業団で受診実績のある事業所へ案内を送付した。</p>						
一次評価	<p>※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。</p> <p>①新規の利用は9事業所あり、受診者は40人増加したが目標は達成できなかった。</p> <p>②間接的には労働安全衛生法上の実施義務の周知を行なったが、より積極的な広報及び直接的な個別勧奨についても医師会の動向を見ながら実施を検討すべきと考える。</p>							
二次評価	<p>新規利用9事業所、40名増は評価できるが、目標達成の努力を重ねる必要がある。医師会には配慮しながら取り組みを進められたい。</p>							
②	指標名	自主事業収入			目標値	80,080千円	実績値	76,169千円
	過去の実績	平成18年度	平成19年度	平成20年度	達成率	95.1%	達成状況	未実施・ <del>未達成</del> ・達成
	(単位: 千円)	77,077	77,166	72,800				
	取組内容	<p>※21年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。</p> <p>①人間ドックの1日あたりの受入人数を1名拡大した。(18名→19名)</p> <p>②人間ドックオプション検査項目の拡大について検討し、平成22年4月から6項目の増加及び受診料サービスのセットを実施した。</p> <p>③職域健診について、新たに、労働安全衛生法及び規則に基づく事業所の義務について、健康づくり関連情報誌において周知及び受診勧奨の記事を掲載した。(「①事業」再掲)</p>						
一次評価	<p>※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。</p> <p>①人間ドック、職域健診とも受診者の増はあったが目標は達成できなかった。</p> <p>②人間ドックは1日平均で1名の受診者増があり、受入人数拡大の効果があつたが、拡大分は主に市民の自己負担のみの部分であり、収益効果としては薄いものであるため有効な対策とはなっていない。</p> <p>③人間ドックにおけるキャンセル等による実施ロスは前年度に引き続き1日平均△1.1名であるため、対策を講じる必要がある。</p>							
二次評価	<p>平成20年度実績から増加していることは評価できるが目標は未達成である。キャンセル等による実施ロスについては、ぜひ対策を進められたい。</p>							
③	指標名	目標管理の実施			目標値	年度末における各職員の目標項目の達成率を100%とする	実績値	72.7%
	過去の実績	平成18年度	平成19年度	平成20年度	達成率	72.7%	達成状況	未実施・ <del>未達成</del> ・達成
	(単位: %)	未実施	63.6%	63.6%				
	取組内容	<p>※21年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。</p> <p>①目標達成へのモチベーションを高めるため、公益財団法人移行を見据えた組織目標を設定するプロジェクトチームを設置し、職員全員の意見を集約した共通の上位目標を定めた。</p> <p>②収益向上及び健康づくり支援センター事業移管の機会に一次、二次予防事業の連携の検討チームを設置し、課題説明等により実施についての理解を深めたうえで、定期的に実施する係及び全体での会議において各グループの進行管理を行った。</p> <p>③年度末に職員に自己評価書を作成させると共に次年度へ向けての目標を設定した。</p>						
一次評価	<p>※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。</p> <p>①対象職員全員がいずれかのプロジェクトまたはワーキングチームに参加し、報告書等成果をあげている。</p> <p>②未達成者である途中退職2名と産育休の1名を除くと達成率は100%といえるが、年度中の達成への個人意識には差があつた。</p> <p>③多職種に渡り総数10名という少ない職員に対する人事考課実施に際しては、反映方法について明確な達成度評価と基準を研究する必要がある。</p>							
二次評価	<p>実質の達成率は100%ということは評価できるが、設定した目標達成に対する個人意識の差の問題が指摘されている。課題を解決すべく取り組みを検討すること。平成23年4月からは公益財団法人になることから、職員一人一人により一層の研鑽を重ねる目標とすること。</p>							